

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容	2
イ 学則変更（収容定員変更）の必要性	2
ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	3

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

ライフデザイン学科を令和 8 年（2026 年）度より学生募集停止とする。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

近年、受験生の 4 年制大学志向を背景とした外部環境の変化により、全国的に短期大学の市場が縮小している。四天王寺大学短期大学部（以下、「本学」という。）においても、令和 3 年（2021 年）から令和 6 年（2024 年）の入学者数は減少傾向にあった。こうした中、教育の質を担保し、高等教育の修学支援新制度の機関要件を安定的に維持するため、令和 7 年（2025 年）度より入学定員を適正化（各学科 40 名）することで入学定員充足率の改善を図った。（表 1）

しかし、急激な志願者減少のトレンドを鑑みると、将来にわたって機関要件を安定的に維持し、質の高い教育環境を継続することには依然として課題が残る。また、受験生の 4 年制大学志向が顕著である昨今の情勢の中、特にライフデザイン学科が属する家政系の分野においては資格取得に直結する専門職養成系学科と比較して、短期大学としての独自の役割や優位性を維持し続けることが困難な状況にある。

一方で、本学の設置法人である学校法人四天王寺学園は、併設の四天王寺大学教育学部において高い教育実績とブランド力を有しており、教育・保育分野は学園全体として最も強みを持つ領域である。短期大学部保育科においても、この大学部門の豊富な教育リソースを直接的に活用できる体制が整っており、他校にはない高度な専門教育を提供できる基盤がある。

今回の募集停止は、外部環境の変化に迅速に対応し、本学が強みとする教育・保育分野へ経営資源を投入するための「選択と集中」を目的としたものである。ライフデザイン学科の教育資源については、併設の四天王寺大学の学部へ継承・統合することで、学園全体としての教育水準の向上を図る。短期大学部においては、保育科を単一の教育研究組織として再編し、大学部門とのさらなる連携強化を図ることで、将来にわたって安定的な運営と、学生に対する質の高い教育責任を果たすことを目指すものである。

(表1) 四天王寺大学短期大学部の入学者推移(5カ年)

年度	保育科			ライフデザイン学科			計		
	定員	入学者	充足率	定員	入学者	充足率	定員	入学者	充足率
2021	120	81	0.67	100	94	0.94	220	175	0.79
2022	120	79	0.65	100	82	0.82	220	161	0.73
2023	120	63	0.52	100	84	0.84	220	147	0.66
2024	120	44	0.36	100	75	0.75	220	119	0.54
2025	40	50	1.25	40	53	1.32	80	103	1.28

※定員は入学定員、充足率は入学定員充足率

ウ 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容

学生募集停止による収容定員の減員であるため、教育課程等の変更はしない。

(イ) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

在籍学生が修了するまでの間、必要となる授業科目を開設と研究指導を継続して行い、教育の質を担保する。

(ウ) 教員組織の変更内容

教員組織に関しても、在籍学生が修了するまでの間、教育運営および研究指導に必要な教員組織を継続して維持する。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

ライフデザイン学科専用の施設・設備については、今後、併設の四天王寺大学経営学部経営学科に移管し、有効活用を図る。